令和７年度第１回グリーンアップおおいた推進会議

令和７年５月２６日（月）10：００～10：55
レンブラントホテル大分　二豊の間

次　第

１　開会

２　知事あいさつ

３　グリーンアップおおいた推進会議会長あいさつ

４　議事

・「グリーンアップおおいたアクション」の普及促進について

５　報告事項

・第６期大分県地球温暖化対策実行計画（区域施策編）・第２期大分県気候変動適応計画の策定について

・令和７年度環境関連事業について

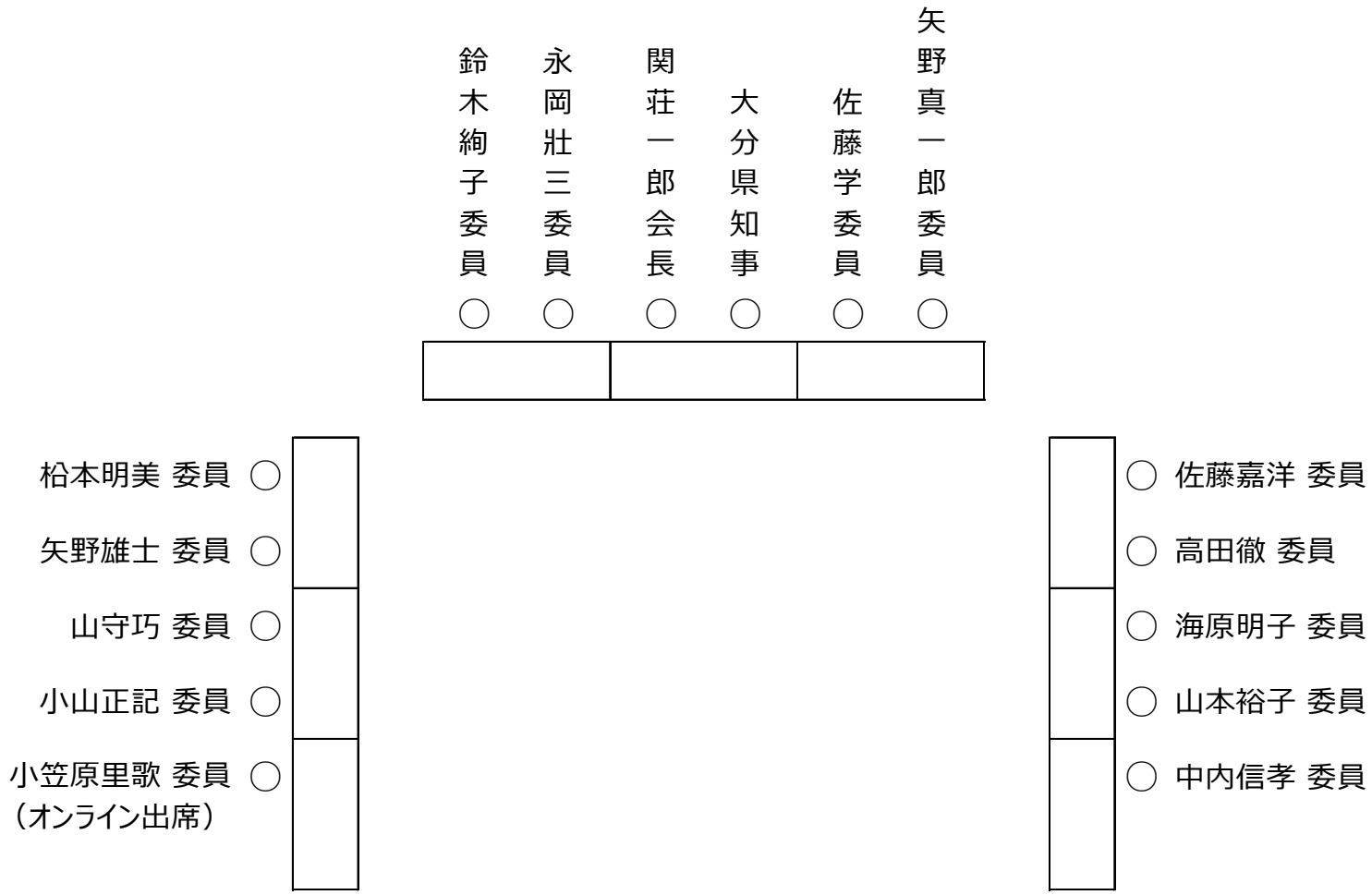
６　閉会

グリーンアップおおいた推進会議　委員名簿

（敬称略）

	氏　名	所属等	役　職		氏　名	所属等	役　職
1	小山　正記	九重の自然を守る会	事務局長	11	関　荘一郎	公益財団法人日本産業廃棄物処理振興センター	理事長
2	山守　巧	特定非営利活動法人水辺に遊ぶ会	事務局長	12	矢野　真一郎	一般社団法人大分県産業資源循環協会	会長 株式会社レックス九州 代表取締役
3	渡部　順子	祖母・傾・大崩ユネスコエコパーク関連団体	株式会社Kabosu Company	13	佐藤　嘉洋	大分県環境保全協議会	会員 株式会社熊野建設 代表取締役社長
4	須藤　智徳	立命館アジア太平洋大学	サステイナビリティ観光学部教授	14	江藤　あけみ	大分県商工会女性部連合会	理事
5	矢野　雄士	株式会社大分銀行	地域創造部推進役	15	高田　徹	株式会社トキハインダストリー	総務人事部総務課長
6	柗本　明美	特定非営利活動法人チーム1.5おおいた	理事長	16	牧　達夫	公益財団法人大分県老人クラブ連合会	会長
7	小笠原　里歌	大分県地球温暖化防止活動学生推進員	立命館アジア太平洋大学２年	17	海原　明子	特定非営利活動法人国東市手と手とまちづくりたい	副理事長
8	鈴木　絢子	大分大学	理工学部助教	18	山本　裕子	特定非営利活動法人さわやか佐伯	理事長
9	永岡　壯三	大分県エネルギー産業企業会	企画運営委員長 大分石油株式会社 代表取締役	19	中内　信孝	大分市キャンプ協会	会長
10	佐藤　学	大分コンビナート企業協議会	会長 ENEOS株式会社 大分製油所長	20	原口　サトミ	グリーンアップおおいたアドバイザー	

令和７年度第１回グリーンアップおおいた推進会議　配席図



グリーンアップおおいた推進会議設置要綱

（設置）
第１条　本県の恵み豊かで美しく快適な環境を「守る」のみならず「活かして選ばれる」視点を加え、経済の発展も促す取組を進める「環境先進県おおいた」を目指す県民運動（以下「グリーンアップおおいた」という。）を推進することを目的とし、グリーンアップおおいた推進会議（以下「推進会議」という。）を設置する。

（所掌事項）
第２条　推進会議は、前条の目的を達成するため、次に掲げる事項を所掌する。
（１）グリーンアップおおいたの推進に必要な取組の立案に関すること。
（２）前号の取組を自ら実践しつつ、広く県民にも実践を呼びかけ、グリーンアップおおいたを唱導すること。
（３）その他グリーンアップおおいたの推進に必要な事項に関すること。

（組織）
第３条　推進会議は、委員２０人以内で組織する。
２　委員は、学識経験のある者、環境関係団体の代表者等の中から、知事が委嘱する。

（任期）
第４条　委員の任期は２年以内とする。ただし、再任を妨げない。
２　委員に欠員が生じたときは、知事が新たに補欠委員を委嘱することができる。補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

（会長）
第５条　推進会議に、会長を置き、委員の互選によりこれを定める。
２　会長は、推進会議を代表し、会務を総理する。
３　会長に事故があるときは、あらかじめ会長が指名する委員がその職務を代理する。

（顧問）
第６条　推進会議に顧問を置き、知事をもって充てる。

（会議）
第７条　推進会議は、会長が必要に応じて招集し、その議長となる。
２　会長は、必要があると認めるときは、会議に委員以外の者の出席を求め、意見を聴くことができる。

（事務局）
第８、９条　省略

議事 「「グリーンアップおおいたアクション」の普及促進について」

環境問題を自分ごととして捉えて、環境に配慮した行動を実践していただけるように「脱炭素（大分県版カーボンニュートラル）」「資源循環」「環境保全」の分野から県民の皆さんに特に取り組んでもらいたい事項を令和６年度グリーンアップおおいた推進会議で決定。

	ステップ１	ステップ２
脱炭素	こまめな消灯などに取り組み、家電の買い換えはＬＥＤなど省エネ型にしよう	九州エコファミリー応援アプリ「エコふぁみ」を使ってエコライフを始めよう
	宅配は確実に受け取れる配送日時と場所（コンビニ、置き配含む）を指定しよう	都合が悪くなったら、事前に宅配事業者へ変更の連絡をしよう
	健康アプリ「おおいた歩得(あるとっく)」を使って徒歩で出かけよう	自転車（シェアサイクル含む）、公共交通機関を利用しよう
資源循環	食品トレイ・ペットボトルを分別しよう	食品トレイ・ペットボトルをスーパーの回収箱に持っていこう
	環境ラベルのついた商品を探してみよう	環境ラベルのついた商品を選んで買おう
	買い物前には冷蔵庫をチェックしよう	賞味期限の短いものから買って、食べよう
環境保全	ごみは持ち帰ろう	ごみ拾いなど環境保全活動に参加しよう

議事 「 「グリーンアップおおいたアクション」の普及促進について」／九州エコファミリー応援アプリ「エコふぁみ」

省エネ、省資源など地球環境にやさしい活動に取り組む県民の皆さんを支援する九州７県の公式アプリ。
２００ポイント貯まると電子マネーなどが当たる抽選に参加可能。

九州エコファミリー応援アプリ
エコふぁみ
KYUSHU ECO FAMILY
ECO FAMI

「ダウンロードはこちらから」

Android版　　iPhone版

県産品が当たる
特別キャンペーンを随時実施

アプリログイン 1P /1日 アプリをひらくだけでポイントが貯まります。	毎日エコチェック 1P /1日 今日実践する(または実践できた)環境にやさしい行動にチェックしましょう。	エコ記録 60P (すべての項目に入力した場合) 電気等の使用量等の記録ができます。記録を行うことでポイントが貯まります。
エコイベント来場 50P 県や市町村などが主催する環境イベントに参加しましょう。	「エコふぁみ協賛店」への来店 20P (同一店舗は月2回まで) 対象店舗を利用しましょう。	アプリをSNSで紹介する 30P (SNS全体で月3回まで) Facebook、Twitter、LINEでアプリを紹介しましょう。
快適な環境スポット訪問 25P (同一スポットは月1回まで) NPOなどにより環境保全活動が行われている、自然景観に優れた場所「環境スポット」を訪問してみましょう。	お知らせ閲覧 5P 県からの最新のお知らせが表示されます。	その他にも… うちエコ診断の受診 50P /1年 アンケートへの回答 30P /1回

議事 「「グリーンアップおおいたアクション」の普及促進について」／宅配再配達ゼロキャンペーン

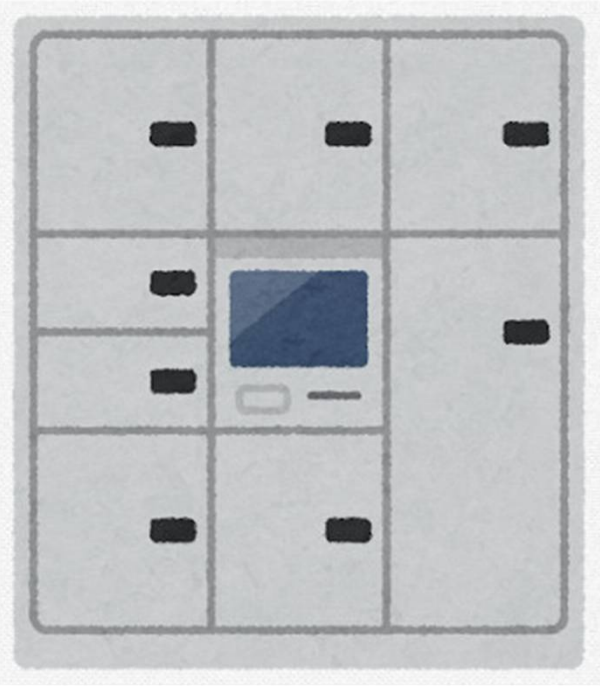
宅配便の再配達を減らすことでＣＯ２排出量削減とドライバーの働き方改善につなげるため、置き配サービスや宅配ロッカーを利用した方に「エコふぁみ」ポイントを付与。

○置き配で荷物を受け取った様子を撮影した写真を「エコふぁみ」で送付

➢ 付与ポイント：３０pt／回　※月１回まで

○宅配ロッカーの内側に貼付したＱＲコードを「エコふぁみ」で読取

➢ 付与ポイント：２０pt／回　※月２回まで

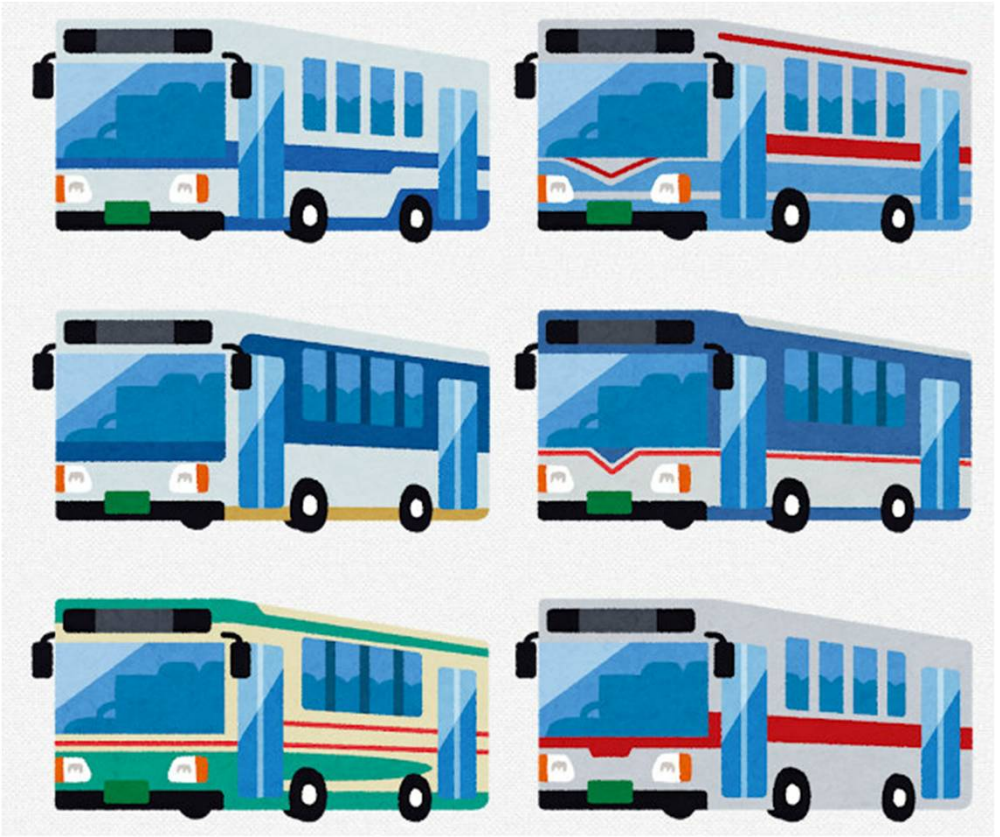


議事 「「グリーンアップおおいたアクション」の普及促進について」／公共交通（路線バス）利用促進キャンペーン

移動時のＣＯ２排出量を削減するとともに、公共交通機関（路線バス）に親しむ機会を提供するため、小・中学生を対象とした夏休み乗り放題定期券を購入した方に「エコふぁみ」ポイントを付与。

〇夏休み乗り放題定期券を購入した際に窓口で提示されたＱＲコードを「エコふぁみ」で読取

➢ 付与ポイント：２０pt



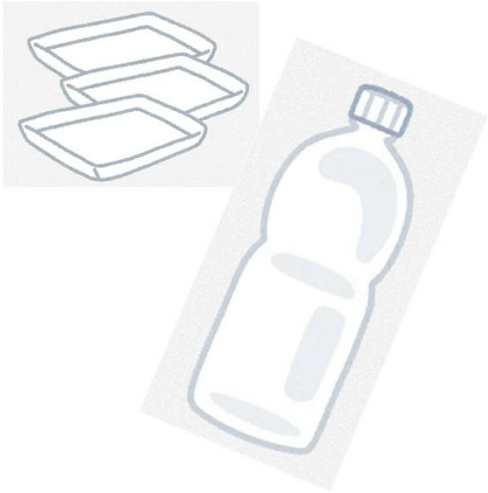
議事 「「グリーンアップおおいたアクション」の普及促進について」／食品トレー・ペットボトル回収協力店

県内のスーパー、コンビニエンスストア２０４店舗に設置した回収箱に食品トレー・ペットボトルを持参した方に「エコふぁみ」ポイントを付与。

〇店頭の食品トレー・ペットボトルに貼付・掲示したＱＲコードを「エコふぁみ」で読取

（回収協力店
：イオン九州(株)２２、(株)イズミ３、(株)Ａコープ九州１２、
グリーンコープ生活協同組合おおいた９、(株)サンライフ４、
(株)サンリブ３１、生活協同組合コープおおいた６、
(株)トキハインダストリー２１、(株)マルキョウ５、
(株)マルミヤストア３５、セブン-イレブン５６）

➢ 付与ポイント：２０pt／回　※月２回まで



※大分県HP
「食品トレー・ペットボトルを
回収しています！」

議事 「「グリーンアップおおいたアクション」の普及促進について」／環境ラベル学びキャンペーン

環境に配慮した商品を選択する習慣を身に着けていただけるよう、夏休み期間の小学４～６年生を対象に、エコマーク等の環境ラベルの収集にチャレンジする取組を実施。

〇夏休み前に小学４～６年生に台紙を配布、購入した商品の環境ラベル４つを貼付した台紙を撮影して電子申請で応募いただいた全員に図書券を進呈

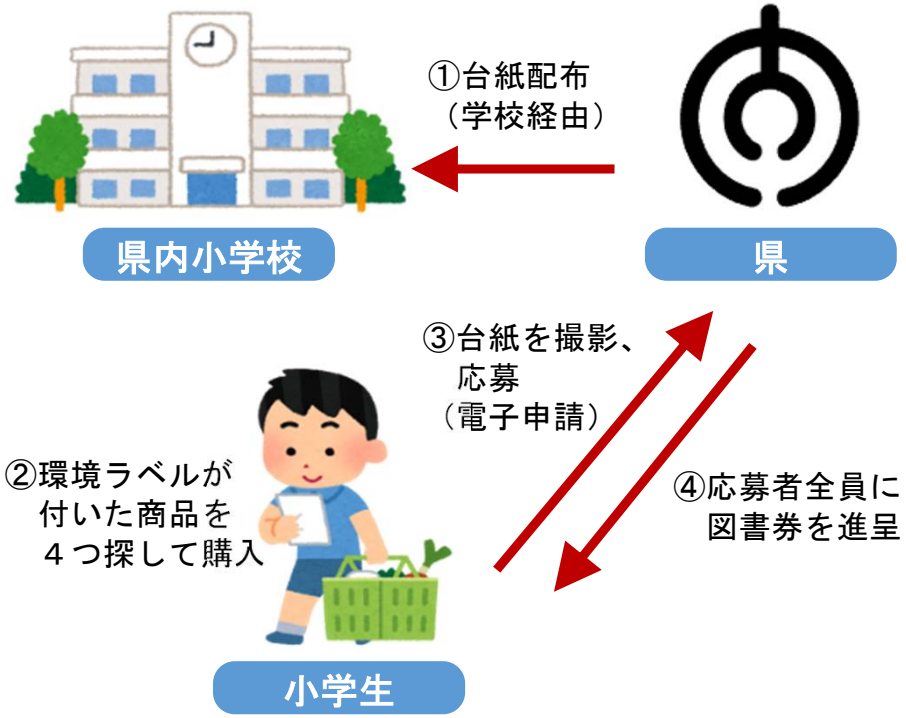
（環境ラベルの例）

R100
古紙パルプ配合率100％再生紙を使用

「再生紙使用マーク」
古紙パルプ配合率を示すマーク。

Recycling products in Oita
大分県リサイクル認定製品

「大分県リサイクル認定製品認定マーク」
大分県が定めた認定基準を満たす、県内で製造・販売されるリサイクル製品を示すマーク。



議事 「「グリーンアップおおいたアクション」の普及促進について」／食品ロスの削減

売れ残りや食べ残し、賞味期限切れなど、本来食べられるのに捨てられてしまう「食品ロス」の削減を推進するため、「食べきり・てまえどりキャンペーン」等を展開。

○食べきり・てまえどりキャンペーン

・外食時の食べ残しを減らす「食べきり運動」、販売期限の迫った商品を積極的に選ぶ「てまえどり運動」を推進するポスターやＰＯＰを店舗等に掲示。

○食べきり協力店・応援店の募集・利用

・食べ残しを減らすための取組に協力する飲食店を「食べきり協力店」、家庭での食材食べきりに協力する小売店を「食べきり応援店」をホームページ等で広く紹介。
（登録数：協力店・累計443、営業中312／応援店：累計169、営業中154）

○おおいた３０・１０（さんまる・いちまる）運動

・宴会等の乾杯（開始後）３０分と終了前１０分は、席を離れず食事を楽しみ、食べ残しをなくそうという運動を実施。

○県内一斉フードドライブの実施

・家庭で食べる予定のない食品を持ち寄り、フードバンクなどを通じて食品を必要とする人々に寄付する活動「フードドライブ」を県内一斉で実施。
（令和６年１０月１日～１１月１７日の取組には９事業者が５７か所で寄付を受付け、９２９kgの食品を収集。）

議事 「 「グリーンアップおおいたアクション」の普及促進について」／県民参加を促進する取組

グリーンアップおおいた実践隊が子どもたちを対象とした環境教育や域外の方々に「学び」等の価値をプラスした環境保全活動を実施、グリーンアップおおいたへの県民参加を促進。

○グリーンアップおおいた実践隊が実施する「史跡や名所で美化活動を実施後、同地の歴史や見どころを解説、地元農産品を使った昼食を提供」等の取組に参加

➢ 付与ポイント：５０pt

グリーンアップおおいた県民参加促進事業

・委託予定（各30万円）
　子供向け事業　４団体
　一般向け事業　４団体

１　広報ルートの拡大

・既存事業のルートのフル活用
・他の環境関連事業（イベント、キャンペーン等）との連携
・商工団体、企業会等との連携

２　インセンティブの強化

・エコふぁみ特別キャンペーン×３回

３　メディアの積極活用

・知事定例記者会見等での積極発信

４　ＷＥＢ広報の改善

・ポータルサイトの開設
・地球温暖化防止活動学生推進員のInstagram活性化

議事 「「グリーンアップおおいたアクション」の普及促進について」／「グリーンアップおおいた」の周知拡大に向けた年間活動計画

項目	概要	主な広報手段	ターゲット/目標 ※着色は若年者向け	４～６月	７～９月	10～12月	１～３月
環境アプリ「エコふぁみ」	エコ活動にポイント付与	ＷＥＢ広告 Instagram広告 ＣＭ，雑誌掲載	県民全般 登録者数+3，000人（累計8，000人）	キャンペーン① ６月～		キャンペーン② 10月頃	キャンペーン③ 11～12月頃
宅配再配達ゼロキャンペーン	宅配ロッカー等利用者にポイント付与	ＷＥＢ広告 Instagram広告	県民全般 広告視聴者60，000人			11～12月頃	
公共交通（路線バス）利用促進キャンペーン	夏休みバス乗り放題定期券購入者にポイント付与	ちらし配布	小中学生 ちらし配布数60，000人		7/21～8/31		
環境ラベル学びキャンペーン	環境ラベル収集者に図書券進呈	台紙配付 教委経由	小学生 応募者数3，000人		7/21～8/31		
食品ロスの削減活動	「食べきり・てまえどり」などのキャンペーンを実施	ＨＰ等	―				
グリーンアップおおいた 県民参加促進事業	学び等の新しい価値を付加した環境保全活動の実施	―	県民全般200人 子ども200人		６月～１月		
グリーンアップおおいた実践隊 （90団体）	環境保全活動の実施，参加者にポイント付与	―	登録団体数/95団体 県民全般/13，000人				
	県民参加型環境保全活動の実施（８団体）	―	子ども参加者500人 一般参加者400人				
グリーンアップおおいた アドバイザー（53人）	講演会や自然観察会等への講師派遣，参加者にポイント付与	―	県民全般 受講者10，000人				
エコドライブ推進講師 （９人）	学校、企業等の講習会への講師派遣（33回）	―	県民全般 受講者4，500人				
幼児向け環境劇	環境劇巡回公演の実施（35回）	―	幼児 来場者3，000人				
グリーンアップおおいたデイ	地球温暖化防止活動学生推進員主導の環境イベント実施（１回）	Instagram広告 報道機関後援	高校生～20代 来場者7，000人			広告 11月～	11月頃
環境関連イベント	参加者にポイント付与	―	―	エコパーク イベント出展	OITAスポGOMIブロック大会		ジオパーク イベント
おおいたグリーン事業者 認証制度	環境にやさしい事業者への支援・ＰＲ	ＷＥＢ広告 新聞広告 企業団体経由	事業者 認証事業者数+50者			重点広告 10～11月頃	
地球温暖化防止活動学生推進員 （15人）	環境配慮企業の見学等	Instagramでの情報発信	大学生 フォロワー300人				

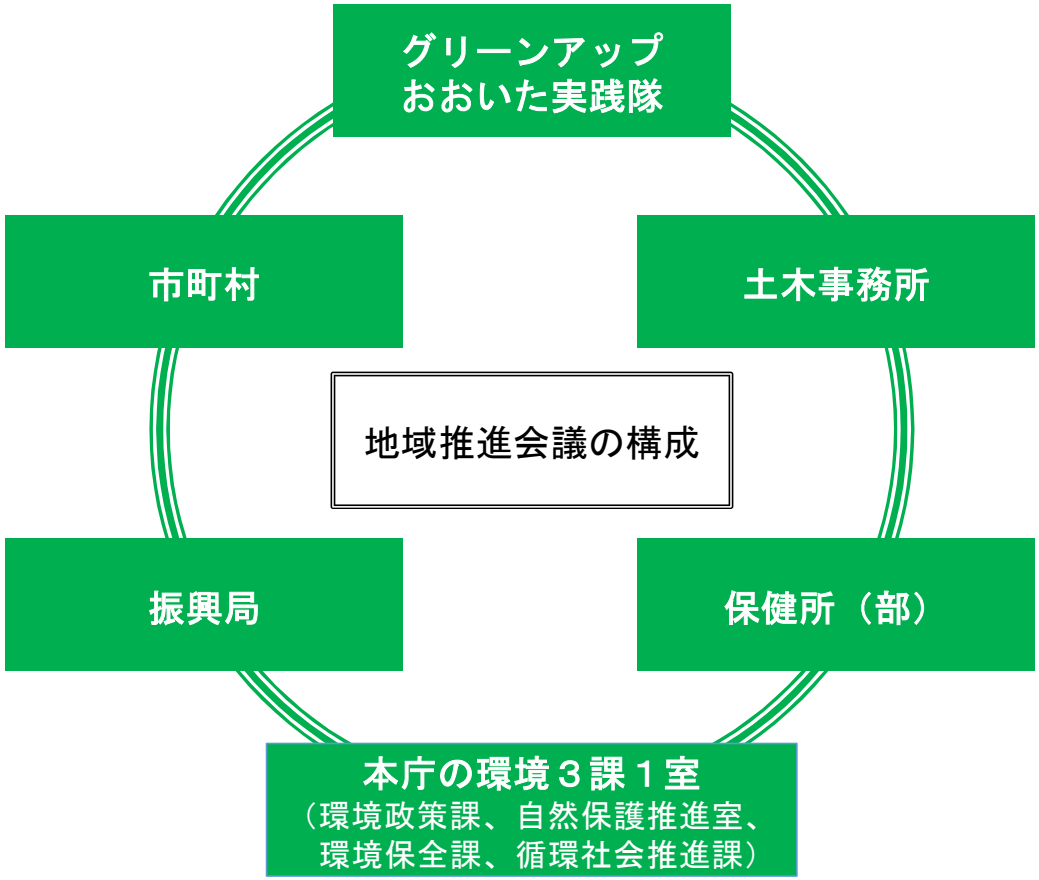
グリーンアップおおいたの認知度向上に向け、

１　自らが取り組みたいこと

２　さらなる周知拡大に向けた提案

参考 「グリーンアップおおいた地域推進会議」で寄せられた主な意見

地域の実情に応じた「グリーンアップおおいた」の推進及び地域の環境課題の解決に向けた取組について協議するため、県内１０地域に「グリーンアップおおいた地域推進会議」を設置。



地域区分	事務局
別府市、杵築市、日出町	東部保健所
国東市、姫島村	東部保健所国東保健部
臼杵市、津久見市	中部保健所
由布市	中部保健所由布保健部
佐伯市	南部保健所
竹田市、豊後大野市	豊肥保健所
日田市、九重町、玖珠町	西部保健所
中津市、宇佐市	北部保健所
豊後高田市	北部保健所豊後高田保健部
大分市	環境政策課

（令和７年４月開催会議での主な意見）

○　「エコふぁみ」を使って県内の環境保全活動をもっとＰＲできるのではないか。

○　「グリーンアップおおいたアクション」に取り組めばどのような効果が得られるのかを記載してはどうか。

○　国東市では廃食油の回収を行っている。こうした取組も「エコふぁみ」ポイント付与の対象に加えてはどうか。

参考　環境と経済の好循環に向けて～おおいたグリーン事業者認証制度の拡充

「おおいたグリーン事業者認証制度」

・企業の環境貢献を見える化し、企業価値の向上を後押しするために創設した県の独自制度（令和５年８月開始）

・脱炭素部門と脱プラ部門を設け、認証のインセンティブとして補助制度も実施

・令和７年４月末現在の認証数は１２８社

脱炭素部門		脱プラ部門
電力や燃料の使用量、廃棄物等の削減目標を設定し、CO2削減に取り組む事業者	対象	プラスチック削減に資する目標を設定しその削減に取り組む事業者
○省エネ設備導入補助金（上限アップ） ➤高効率照明・空調・給湯器導入　補助率1/2 （上限：照明30万円、空調50万円、給湯器15万円） ○自家消費型太陽光発電設備等導入事業費補助金 ➤蓄電池・太陽光発電導入　蓄電池1/3、太陽光2.5万円/kW ○ＥＶ導入補助金（NEW） ➤軽商用EV導入　定額30万円（国補助に上乗せ） ➤EV充電設備導入　補助率1/4（国補助と併用可）	メリット	○プラスチック削減事業者事業費補助金 ➤プラ代替製品の開発／補助率1/2（上限100万円） ➤プラ回収ボックス等の整備／補助率1/2(上限50万円) ➤プラ代替製品の整備／補助率1/2(上限30万円)

認証事業者の取組紹介は環境政策課YouTubeから！

さらなるインセンティブとして、金融機関と連携し、ＣＯ２削減目標の達成状況と金利が連動する新たな融資の枠組も検討中

報告事項「第６期大分県地球温暖化対策実行計画（区域施策編）・第２期大分県気候変動適応計画の策定について」

現行計画の終期が令和８年３月であることから、国の温暖化対策計画の改正を踏まえ、次期計画を策定。

国の温暖化対策計画（R7年2月改定）のポイント

- 2035年度：60%削減、2040年度：73%削減（2013年度比）
- 部門別の目標については目安を提示
  （2040年度　産業：57～61%、業務：74～83%、家庭：71～81%、運輸：64～82%）
- 都道府県に期待される役割として、市町村支援に加え中小企業支援等を記載

県計画改定スケジュール（案）

R7. ６　策定会議立上げ
R7. 10　素案作成
R8. １　パブリックコメント
R8. ３　計画決定・公表

計画策定の主な論点

- 2035年度、2040年度の県目標の設定
- 部門別目標（目安）の設定の検討
- 新たな取組の方向性

	国			県		
目標年度	2030	2035	2040	2030	2035	2040
全体	46%	60%	73%	36%		
産業部門	38%	―	57～61%	26%		
業務部門	51%	―	74～83%	51%		
家庭部門	66%	―	71～81%	66%		
運輸部門	35%	―	64～82%	35%		

検討事項